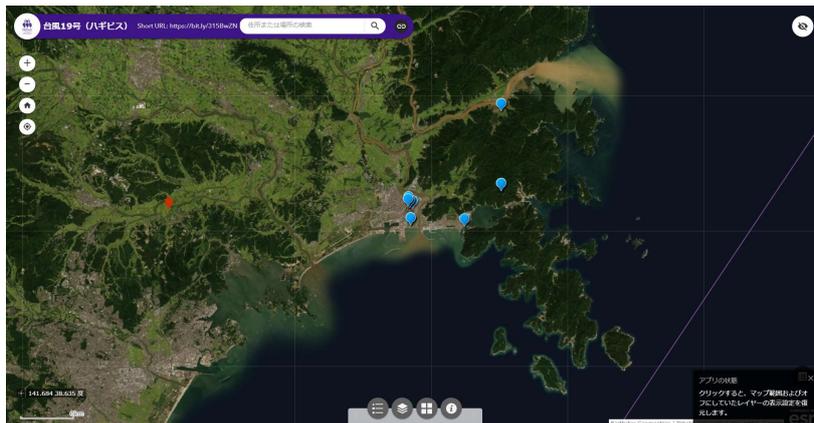


写真提供のお願い

東北大学災害科学国際研究所

2019年10月31日作成（11月12日訂正）

台風19号で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。写真提供のお願いです。今回の台風19号では、河川氾濫による大規模な浸水（外水氾濫）が報道されていますが、そうではない場所での浸水（内水氾濫）も広範囲で複数の場所で発生しています。報道や調査研究では、このような内水氾濫が発生した場所は、しっかりと記録・発信できているとは言い難い状況です。そこで、台風19号の実態（特に浸水）を記録・保存するために、広く皆様から写真をご提供いただくプロジェクトを開始します。ご提供いただいた写真は地図上に配置し、公開・共有いたします。以下のマニュアルを参照いただき、ぜひご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。また、各所へのご紹介もよろしくお願い申し上げます。



担当：

人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野 准教授・佐藤翔輔

災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野 准教授・マス エリック，教授・越村俊一

次ページへ

写真投稿のやり方

東北大学災害科学国際研究所
2019年10月31日作成

【ステップ1】

写真を撮影した場所の「位置情報」を調べてください。

(その方法を知っている方は、【ステップ2】に進んでください。)

「位置情報」とは、いわゆる「緯度経度」「X-Y座標」のことで、「37.*****, 140.****」などの数字です。以下、「PCの場合」と「スマートフォンの場合」で位置情報を調べる方法の例をお示しします。

★注意：緯度経度の記載方法には2種類あります。以下の10進法でお願いします。

10進法(正)：37.909123, 140.768405

60進法(誤)：37° 54' 32.8"N, 140° 46' 6.3"E

OPCの場合

- ①Google Mapを開いてください。
- ②撮影した場所にポインタを移動してクリックしてください。
- ③画面下部に位置情報を含むボックスが出てきます(例：図1)。
- ④その中にある「37.*****, 140.****」など数字をコピーまたは転記してください。

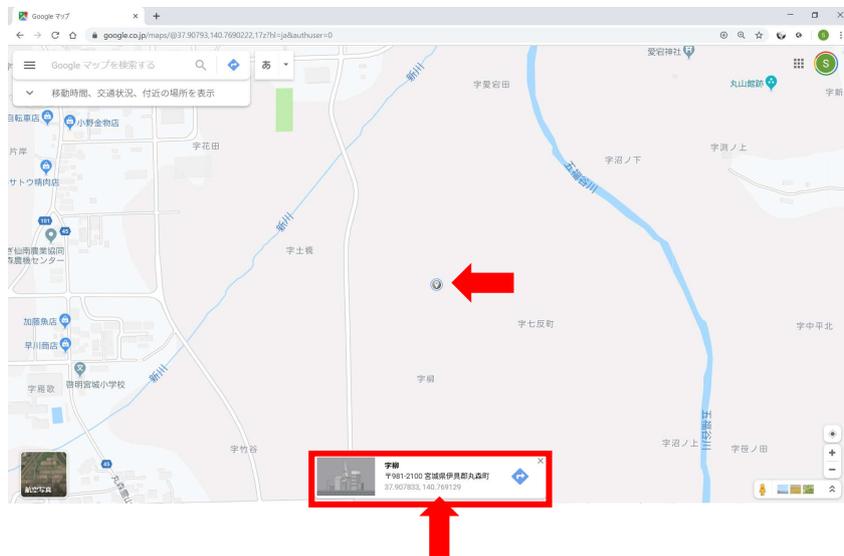


図1 PCでGoogle Mapから位置情報を調べる画面の例

○スマートフォンの場合

- ①Google Mapを開いてください。
- ②撮影した場所(地点)で長押ししてください。そうすると図2左側のような画面になります。
- ③画面上部にある位置情報を含むボックスをクリックしてください。そうすると図2右側にあ

るような画面になります。

④その中にある「37.****, 140.****」など数字をコピーまたは転記してください。

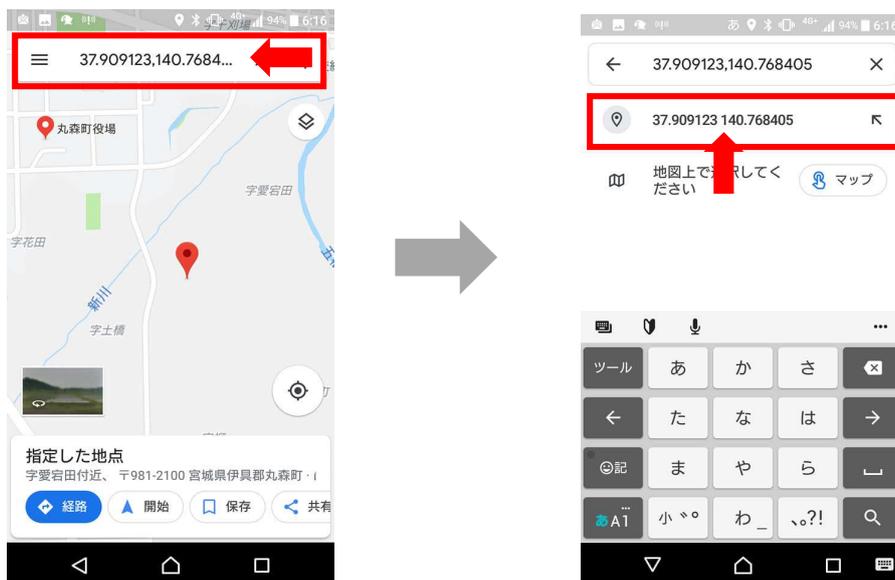


図2 PCでGoogle Mapから位置情報を調べる画面の例

【ステップ2】

写真とともに、位置情報のほかに写真に関する情報をお送りください。

○エクセルを使わない場合

以下をメール等の本文に記載してお送りください。写真1枚ごとに投稿をお願いします。

- ・撮影日時（例：2019/10/13 15:00）
- ・位置情報（例：37.909123, 140.768405）
- ・投稿者名（本名または匿名または空欄、例：宮城太郎）
- ・コメント（写真に関する情報、例：〇〇地区です。車が通れないほどの水かさです。）

○エクセルを使う場合

別添のエクセルを使う場合は、一括して投稿していただくことができます。

エクセル中のシートの項目を埋めてください。

【ステップ3】

○以下のアドレス宛にお送りください。写真はファイルサイズが大きいためファイルアップロードサービス等をお使いください。

件名：写真投稿

投稿先アドレス：irides-e502[at]grp.tohoku.ac.jp

※[at]を半角アットマークにしてください。

ご不明な点は、なんなりと上記お問い合わせください。

担当：東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔